

## 外来研修

### 1. 【一般目標(GIO)】

プライマリケア対応能力を修得するために、患者の呈する症状と身体所見、検査に基づいた鑑別診断を実践できるようになり、初期治療の基本を理解し、良好な医師患者関係が築けるようになる。

### 2. 【行動目標(SBOs)】

1	患者の心理的、社会的側面を配慮できる（患者－医師関係）。
2	上級医、他科医師、看護師等へ適切なタイミングでコンサルトできる（チーム医療）。
3	入院が必要な場合、担当医師、コメディカル、担当部署へ連絡できる（チーム医療）。
4	臨床上の疑問点の解決のためにEBMの実践ができる（問題解決能力）。
5	症例提示ができる（症例提示）。
6	保健医療を理解し適切に行動できる（医療の社会性）。
7	適切な医療面接技術を用い病歴聴取、患者・家族へ説明できる（医療面接）。
8	全身にわたる身体診察を系統的に実践できる（基本的な診察法）。
9	基本的治療法の選択ができるようになる（基本的治療）。
10	適切な医療記録ができる（医療記録）。
11	経験すべき症状・病態・疾患をできるだけ多く経験する（経験目標）。
12	在宅医療が提供されている患者宅に赴き、訪問診療等を経験する（経験目標）。
13	外来研修を振り返り、次回の研修へ生かすように準備する（振り返り学習）。

### 3. 【方略】

	【対応するSBOs】
1 (実習) 指導医とマンツーマン外来実習(OJT)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12, 13
2 (講義) 4月のオリエンテーション時に外来実習説明会	1, 3, 5, 8, 9
3 (模擬実習) 4月の模擬実習	5, 7, 8
4 (講義及び模擬実習) 4月にdynamed, UPtoDATEを使用。	4
5 (講義及び実習) 4月九州厚生局による講義及び毎回の外来業務終了時病名入力。	6
6 (講義及び院外講師による研修医セミナー) 研修のためのセミナー。	8, 9
7 (実習及び講義) 診療録管理室等の専門家による講義及び実習。	10

### 4. 【評価】

#### ①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	【対応するSBOs】
OJT	自己・指導医	毎回の外来業務終了時	口頭でのフィードバック 外来研修チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
診療態度	自己・指導医・コメディカル	研修中旬 研修終了時	口頭でのフィードバック	1, 2, 3, 7, 12
サマリー	自己・指導医	毎月	ポートフォリオによるチェック	2, 3, 4, 9, 10

#### ②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修終了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

#### ③指導医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導医への評価	研修医	研修終了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

5. 【スケジュール】別紙にて連絡 年間5-10回の外来研修。担当事務より連絡あり

6. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること。服装は白衣またはフォーマルな服。

7. 【研修指導体制】医療教育開発センター教官によるマンツーマン指導

8. 【緊急連絡先】

医療教育開発センター

## 救急医療教育室外来研修

### 1. 【一般目標(GIO)】

初期・二次救急患者へのプライマリ対応能力を修得するために、初期治療の基本と知識を習得し、鑑別診断と治療を実践できるようになり、関係する全てのスタッフと協力して、チームとして対応することができる。

### 2. 【行動目標(SBOs)】

- 1 患者の心理的、社会的側面を配慮できる（患者－医師関係）。
- 2 上級医、他科医師、看護師等へ適切なタイミングでコンサルトできる（チーム医療）。
- 3 入院が必要な場合、担当医師、コメディカル、担当部署へ連絡できる（チーム医療）。
- 4 臨床上の疑問点の解決のためにEBMの実践ができる（問題解決能力）。
- 5 症例提示ができる（症例提示）。
- 6 保健医療を理解し適切に行動できる（医療の社会性）。
- 7 適切な医療面接技術を用い病歴聴取、患者・家族へ説明できる（医療面接）。
- 8 全身にわたる身体診察を系統的に実践できる（基本的な診察法）。
- 9 基本的治療法の選択ができるようになる（基本的治療）。
- 10 適切な医療記録ができる（医療記録）。
- 11 経験すべき症状・病態・疾患をできるだけ多く経験する（経験目標）。
- 12 外来研修を振り返り、次回の研修へ生かすように準備する（振り返り学習）。

### 3. 【方略】

	【対応するSBOs】
1 (実習) 指導医とマンツーマン外来・当直実習 (OJT)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12

### 4. 【評価】

#### ①研修医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法	【対応するSBOs】
OJT	自己・指導医	毎回の外来 当直業務終了時	口頭でのフィードバック 外来研修チェックリスト	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 12
サマリー	自己・指導医	毎月	ポートフォリオによる チェック	3, 9, 10

#### ②当該科に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの当該科への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

#### ③指導医に対する評価

項目	評価者	時期	評価方法
研修医からの指導医への評価	研修医	研修修了時	医療開発センターの診療科への評価表で行う

### 5. 【スケジュール】別紙にて連絡 年間2回の外来・当直研修。担当事務より連絡あり

### 6. 研修医の事前準備

プライマリ・ケア、初期救急の教科書をおさらいすること。服装は白衣またはスクラブ可。

### 7. 【研修指導体制】救急医療教育室教官によるマンツーマン指導

### 8. 【緊急連絡先】

医療教育開発センター